

「エコマークアワード 2025」受賞者決定 持続可能な社会実現に貢献する 6 団体・1 商品が受賞

公益財団法人日本環境協会（所在地：東京都千代田区、理事長：新美 育文）が運営するエコマークは、2025 年度のエコマークアワード受賞者を決定しました。

持続可能な社会の形成に大きく寄与する取り組みをした企業・団体が選ばれるエコマークアワードの最優秀賞は「京王プラザホテル」が受賞。優秀賞には 5 社が選ばれました。ベストプロダクトには、2024・2025 年度に認定された全てのエコマーク認定商品の中から「arrows Alpha F-51F / M08」が選出されました。表彰は、11 月 13 日以降、各受賞者に対して行います。（次ページに記載）

エコマークアワード 2025 受賞団体/受賞タイトル、受賞商品/受賞企業

最優秀賞	京王プラザホテル 京王プラザホテルの多角的な環境への取り組み ～幅広いお客様が集い憩う“広場（プラザ）”として、持続可能な社会の発展に貢献～
優秀賞	有限会社グッツール 感染性廃棄物で取り組むエコ！注射針廃棄容器だからこそできること！
優秀賞	株式会社シモン 持続可能な社会に貢献する安全靴開発の歩み
優秀賞	株式会社信州セラミックス 家電業界初、再生プラスチック 61%を使用した空気清浄機の取り組みと実績
優秀賞	株式会社トリドールホールディングス エコマークを起点とした環境配慮型店舗『エコ KAN 店舗』による環境貢献の推進
優秀賞	日本軌材工業株式会社 業界初！鉄道軌道用品のリサイクルプランをご提案
ベスト プロダクト	arrows Alpha F-51F / M08 [認定番号 25 166 001] FCNT 合同会社

エコマークアワードとは

エコマークアワードは、日本環境協会が 2010 年度に創設した表彰制度です。

環境配慮商品の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

「最優秀賞」、「優秀賞」は、書類審査とプレゼンテーション審査により選考委員会にて決定。エコマークを通じて「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰します。

「ベストプロダクト」は、2024 年度および 2025 年度に認定されたエコマーク商品の中から、選考委員会にて決定。特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた製品・サービスを表彰します。

エコマークアワード 2025 表彰について

以下の日程で、エコマーク事務局が各受賞者を訪問し、それぞれ表彰を行います。受賞者には賞状、トロフィが贈られます。

京王プラザホテル（東京・新宿区）	11月13日（木）
有限会社グツツール（大阪・茨木市）	11月26日（水）
株式会社シモン（東京・中央区）	12月1日（月）
株式会社信州セラミックス（長野・木曽郡）	12月3日（水）
株式会社トリドールホールディングス（東京・渋谷区）	11月14日（金）
日本軌材工業株式会社（岐阜・美濃市）	12月22日（月）
FCNT 合同会社（神奈川・大和市）	12月1日（月）

エコマークについて

国際標準化機構の規格 ISO14024 に基づく第三者認証制度で、日本で唯一のエコラベル（タイプⅠ環境ラベル）です。1989 年より公益財団法人日本環境協会が運営しています。

環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる製品やサービスにつけることにより、消費者が環境保全の面でより良い商品を選ぶ目印となります。商品の環境的側面に関する情報を広く社会に提供し、持続可能な社会の形成に向けて消費者ならびに事業者の行動を誘導していくことを目的としています。

2025 年 11 月時点で、認定商品数は約 56,254 点、認定取得企業は 1,482 社です。

「エコマーク」は、公益財団法人日本環境協会の登録商標です。

エコマーク事務局ウェブサイト：<https://www.ecomark.jp/>

＜本件・取材に関するお問い合わせ＞

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 事業推進課

E-mail: kouhou@ecomark.jp

Tel: 03-5829-6286

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5F

URL: <https://www.ecomark.jp/award/2025/>



エコマークアワード 2025
ウェブページ



最優秀賞 受賞

京王プラザホテル

京王プラザホテルの多角的な環境への取り組み

～幅広いお客様が集い憩う“広場（プラザ）”として、持続可能な社会の発展に貢献～

1971 年に日本初の超高層ホテルとして新宿に開業した京王プラザホテルは、幅広いお客様が集い憩う“広場（プラザ）”として、持続可能な社会への貢献を事業の中核に据えており、その取り組みは実に多岐にわたる。

食べきれなかった料理の持ち帰りや、野菜の切れ端などの飼料化など、「もったいない」を「おいしい」に変える取り組みで、業界の課題である食品廃棄物削減に挑んでいる。製造過程で生じる切れ端やドリップ後のコーヒー豆などを利活用した商品では、従来の焼き菓子やドリンクを超えるほどの“映え”に変えた。厨房排水の再利用、シェアサイクルの導入などの取り組みに加え、不要衣類の回収ボックス設置や規格外バナナの活用といった活動も、現場スタッフのアイデアを起点として具体化してきた情景が目に見え、同ホテルの「全社横断的な推進体制」が真に機能し、現場スタッフの力で SDGs とマーケティングを巧みに結びつけることに成功している点を高く評価したい。現状に甘んじることなく、次々と新たな挑戦を続けるその情熱とアイデアは業界の模範であり、今後も注目すべきホテルである。

優秀賞 受賞

有限会社グツツール

感染性廃棄物で取り組むエコ！注射針廃棄容器だからこそできること！

有限会社グツツールは、医療現場で発生した使用済み注射針を安全に廃棄・回収する小型専用容器を製造・販売している。同社は、安全性や適正処理が最優先される製品において、環境負荷低減との両立という難題に挑んでいる。

製品の本体と取っ手に再生プラスチックを使用し、バージン材料の使用削減を実現したことは、具体的な成果として高く評価したい。再生材料の調達における長年の課題を克服してエコマークの取得に至ったという努力も特筆に値する。また、感染性医療廃棄物を扱う容器という製品の特性上、針刺し事故による感染症リスク削減などのため、強度や透明度が求められる部品には材料を使い分け、医療従事者の安全を確保している。さらに、製品のエコマーク表示を見やすく改善したことは、医療従事者、患者、病院来訪者などが目にする機会を増やし、社会全体の環境意識を高める好事例である。処理の難しい医療系廃棄物だからこそ、再生材料を最大限活用する同社の姿勢は、業界全体に与える示唆も大きく、その波及効果を期待したい。

優秀賞 受賞

株式会社シモン

持続可能な社会に貢献する安全靴開発の歩み

1948 年創業の安全靴・作業靴・作業用手袋のメーカーである株式会社シモンは、快適性、安全性、耐久性という高い製品価値を備えた最新モデルの安全靴でエコマーク認定を取得した。この認定は、クロムフリーレザー、GRS 認証（Global Recycled Standard）のリサイクル素材を用いたインソール、リサイクルポリエステルを使用したシューレースの採用、製造工場での太陽光発電を導入するなど、製品や生産工場全体で環境負荷低減を追求した結果である。

安全靴の第一要件である「足の安全」を確保しながら、「環境」と「人」への配慮を両立する姿勢は、持続可能な社会の実現に大きく寄与するものである。履き心地の悪さは作業効率の悪化に直結することから、滑りにくさと快適性を向上させている点も、使用者に寄り添う開発思想の表れである。長年の真摯な製品づくりに環境性能という新たな価値を付加し、それを明確に発信することで消費者の意識向上にも貢献する取り組みは、高く評価される。

優秀賞 受賞

株式会社信州セラミックス

家電業界初、再生プラスチック 61%を使用した空気清浄機の取り組みと実績

株式会社信州セラミックスは、プラスチック部品の 61%に廃家電品由来の再生プラスチックを使用した空気清浄機で、エコマーク認定を取得している。

家電製品では意匠性等により、一般的に再生プラスチックの使用は内部などの一部分に限られている。黒点や色むらといった課題を長年の研究で克服し、外装部品に再生材料を採用し高い再生材料配合率を実現したことは、同社の卓越した技術力と信念の賜物である。

さらに特筆すべきは、再生材料特有の見た目のデメリットを隠さず、むしろ積極的に情報を発信している点である。また、消費者に廃家電の解体現場を見せるなど、リサイクルの重要性を消費者に訴えることで、環境配慮型製品への理解を深めている。通常はネガティブにとらえられる部分を、エコマークも活用しながら製品の背景にある物語として伝えることで、消費者の共感を得る。この常識を覆す挑戦は、社会全体での再生材料の利用促進に貢献するものとして、大いに期待される。

優秀賞 受賞

株式会社トリドールホールディングス

エコマークを起点とした環境配慮型店舗『エコ KAN 店舗』による環境貢献の推進

飲食店を多角的に運営する株式会社トリドールホールディングスは、省エネ型設備等の導入というハード面と、全店舗で環境配慮につながるオペレーションを標準化し、従業員が取り組みやすい体制を構築するというソフト面の取り組みの両面で、環境負荷低減を進めている。

特に約 50 店舗でエコマーク認定を取得している「丸亀製麺」では、うどん業態特有のエネルギー消費や食品ロスが大きいという課題に対し、ハード面とソフト面の両方で先進的な店舗を「エコ KAN 店舗」と位置づけている。その店舗にはエコマーク認定取得を義務付け環境への貢献を可視化することで、従業員のモチベーション向上にもつなげている。

これらの取り組みは、消費者に環境配慮の重要性を伝える手段としても機能しており、環境と経済を両立させながら感動を生み出すという、同社のビジョンを見事に体現している。このモデルケースがグループ全体の取り組みを牽引し、さらに拡大していくことが期待される。

優秀賞 受賞

日本軌材工業株式会社

業界初！鉄道軌道用品のリサイクルプランをご提案

鉄道の軌道（レール）関連用品の製造事業者である日本軌材工業株式会社は、プラスチック製の部材「ばね受台」と「埋込栓（レール締結に関わる部材）」でエコマーク認定を取得している。これまで鉄道現場で廃棄されていた使用済み部材を、鉄道事業者の協力のもと回収。リサイクル工程で落としにくい汚れや鉄粉を丁寧に除去するなど試行錯誤を重ねて、製品の一部に再生材料を使用できるようになったことは、継続的な努力の証である。強度や性能を損なうことなく、従来製品と変わらない品質で製造できるようになっただけでなく、鉄道業界における新たな循環システムを構築した。

積極的に環境配慮の取り組みを広報しており、鉄道利用者には見えにくい製品だからこそ、エコマーク認定などを通じて環境価値を社会に伝える姿勢も評価される。安全性を確保すると同時に環境負荷を削減する取り組みは、鉄道業界においてポストコンシューマ材使用の拡大に寄与する優れた事例である。

ベストプロダクト 受賞

arrows Alpha F-51F / M08 [エコマーク認定番号：25 166 001]

FCNT 合同会社

2025 年 8 月に発売されたスマートフォン「arrows Alpha F-51F / M08」は、利用者が安心して使い続けられる長期使用を追求した製品である。最高水準の防水・防塵性能と MIL 規格の耐衝撃性能を持ち、バッテリーの長寿命化や高水準の充電サイクル数を備えている。この長期使用を前提とした製品設計は、スマートフォンの商品価値を変革する意欲的な試みである。

また、資源循環への貢献も大きな特徴である。背面パネルなどに再生プラスチック、メインケースの内部フレームとカメラフレームに再生アルミニウムを採用。これにより、電気・電子部品を除く部品総重量に対するリサイクル材料の割合が約 60%という高水準を実現した。リサイクル素材を積極的に使用したこの成果は、資源循環への強いコミットメントを示しており、高く評価される。

長期使用設計、最高水準の防水・防塵性能と耐衝撃性、圧倒的なリサイクル素材の使用率、EU の規則を満たすエネルギー効率など、総合的に優れたエコプロダクトである。